

# 金ぞくのあたたまり方

## 予想を立てるときの評価基準

**S**

鉄板を熱したとき、火があたっていないところがどうやってあたたまるかについて、予想を根きよと共に説明することができ、何と関係付けたことでその予想が生まれたかを説明できている。

**A**

鉄板を熱したとき、火があたっていないところがどうやってあたたまるかについて、理由のある予想を立てることができ、予想の根きよを説明できている。

**B**

鉄板を熱したとき、火があたっていないところがどうやってあたたまるかについて、予想を立てることができているが、予想の根きよを説明することができていない。

**C**

鉄板を熱したとき、火があたっていないところがどうやってあたたまるかについて、予想を立てることができていない。

## 具体的な記述の例

※予想が事実とはちがっていても、理由が示せていればこの段階では質が高いと考える

**「予想」**

火があたっているところから熱が伝わっていき、鉄板の火からはなれたところもあたたかくなる。

**「予想の根きよ」**

お湯が入った湯のみは下から上に熱が伝わっていくのと同じように、鉄板も中を熱が伝わっていくと思ったから。

**「予想の立て方について  
思ったこと」**

鉄板を熱したとき、火があたっていないところがどうやってあたたまるかについて、湯のみがお湯が入っていないところも続いて熱くなっていることとにているので、それと関係付けることで、予想の理由が説明できた。

**「予想」**

火があたっているところから熱が伝わっていき、あたたかくなる。

**「予想の根きよ」**

お湯が入った湯のみは下から上に熱が伝わっていくのと同じように、鉄板も中を熱が伝わっていくと思ったから。

**「予想の立て方について  
思ったこと」**

ヒントがあったから予想できた。

**「予想」**

熱が伝わっていく。

**「予想の根きよ」**

なんとなく。

**「予想の立て方について  
思ったこと」**

むずかしかった。

**「予想」**

熱いと思った。

**「予想の根きよ」**

わからない（書けていない）

**「予想の立て方について  
思ったこと」**

むずかしかった。